

特許
取得

花菜ポット

P A P E R P O T

ポリ鉢^{なみ}
コスト

手間とコストを削減する“紙製育苗ポット”



紙のスゴさ

スゴア
1

ポットのまま定植できます。
3~4ヶ月で分解し、土に還ります。
土壌環境により前後します。

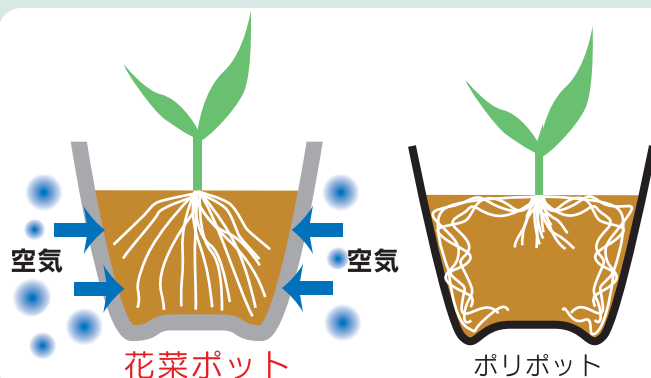


定植後分解したポット

キュウリ: 定植後2ヶ月後の発根・分解状況

スゴア
2

苗の根巻きが少なくなります。
通気性が良く、満遍なく理想的な根が伸びます。

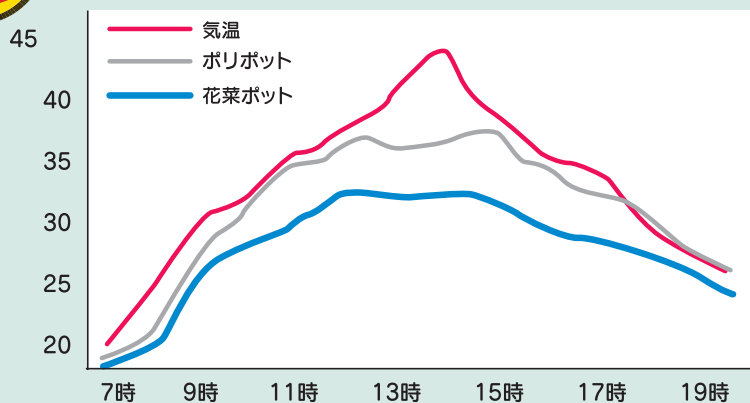


スゴア
3

ポット内の地温が低くなります。

・気化冷却効果です。
・盛夏期の最高温度でポリポットより4~5℃低くなります。

気温・地温(℃)



花菜ポットとポリポットの地温変化



確かな効果



イチゴの「花芽分化促進」

(夜冷短日処理や低温暗黒処理の代替技術)

- ・ポットからの気化潜熱の発散によって培地温度が低下し、花芽分化が早くなります。
- ・産地の事例では、特別な花芽分化促進処理を行わない普通促成作型においてポリポットよりも4~5日程度の促進効果が確認されています。

● 花菜ポットとポリポット (慣行) 比較

	花芽分化	収穫開始時期	かん水	施肥量	廃棄コスト
ポリポット	慣行通り	慣行通り	慣行	慣行	必要
花菜ポット	※ 4~5日早	※ 1~2週間早	多目	多目	不要

※品種、栽培状態により若干の差は生じます

● かん水方法

・培養土が乾燥する早さは、ポリポットと花菜ポットでは異なります。培養土の保水性にもよりますが、**従来よりもかん水回数を増やして**下さい。乾燥し過ぎると苗が小さくなる可能性があります。

● 施肥方法

・かん水回数が増えるために施肥の溶脱が早くなり、また紙が分解する際に微生物が窒素分を取込むために施肥が不足しがちです。
・培養土量がポリポットと同量でも施肥が不足するとやや小さな苗になることがあります。施肥量は**従来に比べ増やして**下さい。

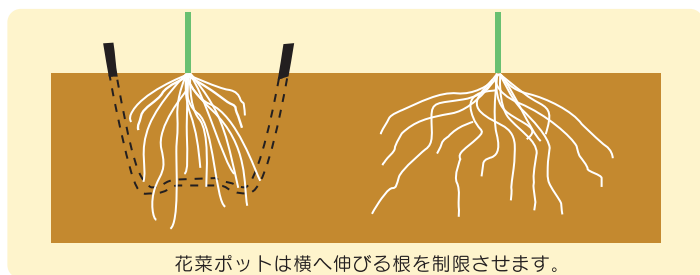
・施肥終了してからの肥効低下はポリポットよりかなり早くなります。
・苗を充実させるためには、施肥の終了を早過ぎないようにして下さい。
・ただし、花芽分化時期の直前に施肥すると分化は促進されません。



トマトの「アバレ(異常莖)防止」

根域制御として活用した例です。

トマトの早期定植、横へ伸びる根を防止する効果が期待できます。



花菜ポットは横へ伸びる根を制限させます。

トマトの若苗定植に活用できます。

育苗期間が短縮でき、そのまま定植でき、省力化に貢献します。根域制御効果も好評です。



トマト定植後3ヶ月

育苗方法

● 定植作業

- ・育苗期間、かん水回数などの条件によってポットの崩壊程度が異なります。
- ・定植時にポットの崩壊が進んでおり、ポット底から多くの根が貫通している時は、そのまま定植して下さい。
- ・ポットの崩壊が小さく根がポットを貫通していない時は、ポットの底または側面を少し開けて定植すると活着が良くなります。
- ・そのまま定植しても土壌環境に対する検査基準「環境庁告示第46号」に沿った基準をクリアしています。

● 培養土の選定

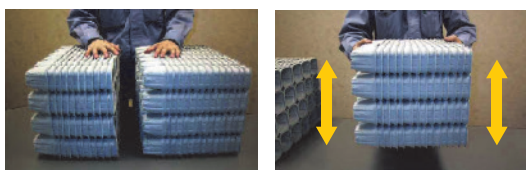
・ポットからの水分蒸発で培養土が乾きやすくなります。排水性の良い培養土よりも保水性の良い培養土のご利用をお勧めします。

● その他

・ポットの崩れ防止のために撥水加工をしていますが、育苗期間が約2ヶ月を経過すると撥水効果が低下します。その際ポット表面にカビが発生することもあります。生育に悪影響はありません。

取り扱い方法

- ポットシートの剥がし方シートの重ねがキツイ場合は、側面を叩くと衝撃振動で緩みます。
- 1枚ずつ剥がす場合は、揺すりながら剥がすと剥がれ易くなります。



ご注意: 当案内に表示するデータは使用する環境、用法により異なります。品質を保証するものではありませんのでご注意ください。

● 規格データ

	花菜ポット20	花菜ポット24
1ポット容量	350cc	260cc
個数/枚	20個/枚	24個/枚
連結規格	460×360×70(H)mm	480×320×75(H)mm
梱包入数	25枚500ポット	25枚600ポット
1梱包サイズ	460×360×605(H)mm	480×320×610(H)mm

お問い合わせ先



大石産業株式会社

【本社】〒805-0068 福岡県北九州市八幡東区桃園二丁目7番1号
TEL:093-661-6511 FAX:093-661-1641

- 北海道 TEL:0144-57-6123
- 青森 TEL:0178-56-3112
- 茨城 TEL:0293-43-6125
- 東京 TEL:03-5640-5715
- 大阪 TEL:072-625-6780

- 福岡 TEL:0949-26-3461
- 大分 TEL:097-528-8738
- 熊本 TEL:0968-44-5181
- 長崎 TEL:0957-27-1880